

平成28年度介護保険サービス事業所 集団指導（居宅介護支援事業所）  
平成28年7月20日（水）

# コミュニケーション支援の 基礎知識について



宮城県気仙沼保健福祉事務所 成人・高齢班  
技術主査（理学療法士） 栗津 正貴

# 筋萎縮性側索硬化症 (ALS), 多系統萎縮症をはじめとする, 病状の進行が早い神経難病者とコミュニケーション

話すこと↓



飲み込む  
こと↓



上肢, 手指,  
下肢↓

呼吸する  
こと↓

# コミュニケーションの重要性

情報のやりとり，相手に自己の思いを伝えること

- ① 言語コミュニケーション  
会話や文字
- ② 非言語コミュニケーション  
ジェスチャー，態度，表情，声の大きさやテンポ

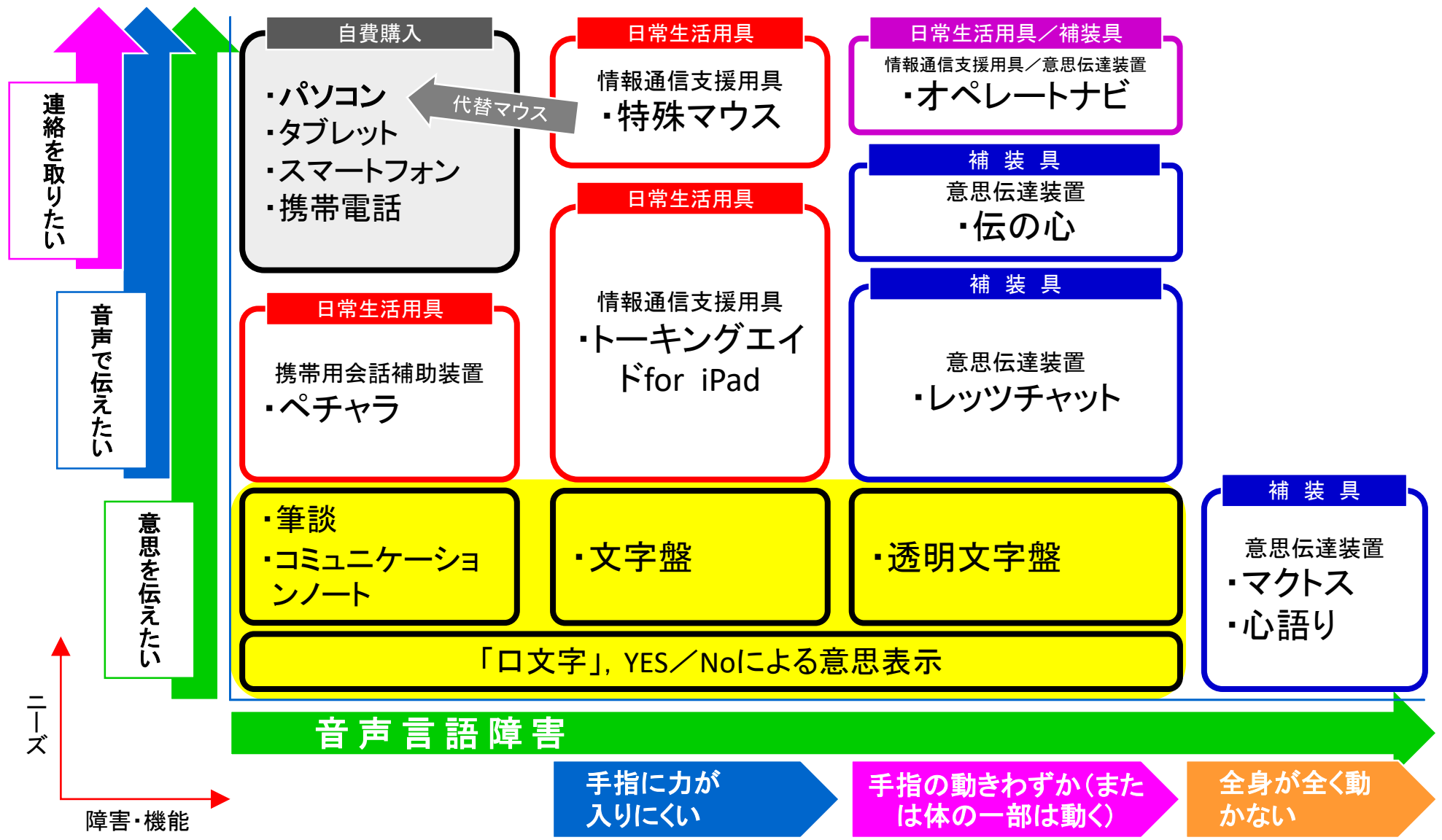
人生（生活）の質の向上にとって，必要不可欠なものです。

## コミュニケーション支援の方法

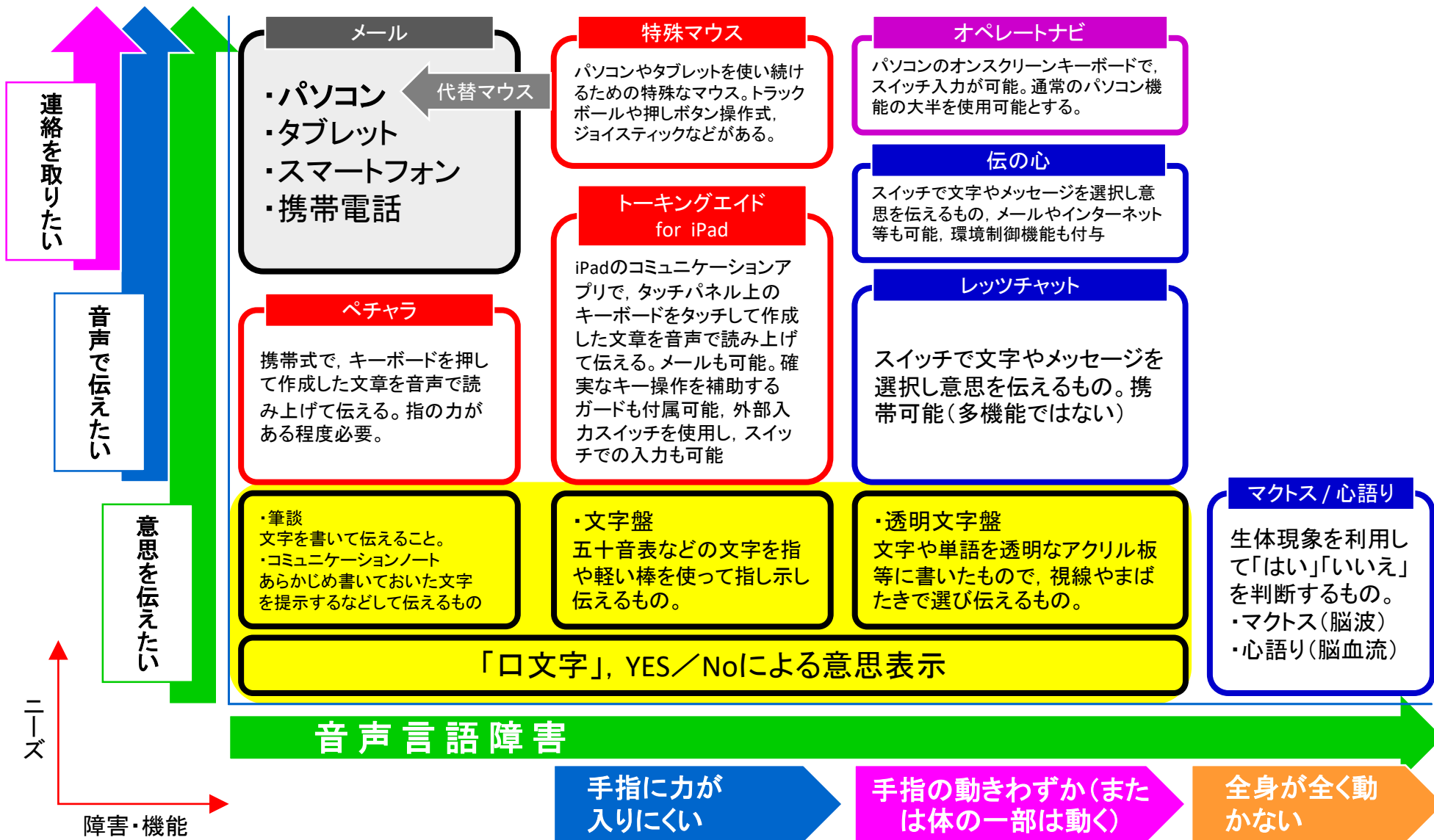
- ・ 音声言語機能障害や四肢麻痺の程度を把握する。
- ・ 誰とどのようなコミュニケーションをどの程度とりた  
いかを確認する。
- ・ 最適な手段の選択と習得に向けた支援を考える。

**本人の性格や対応能力， 家族等の協力の可否につ  
いて確認していきながら， 習得できる可能性の高いも  
のを選定する**

# 神経難病者の方へのコミュニケーション支援早見表 (制度/名称)

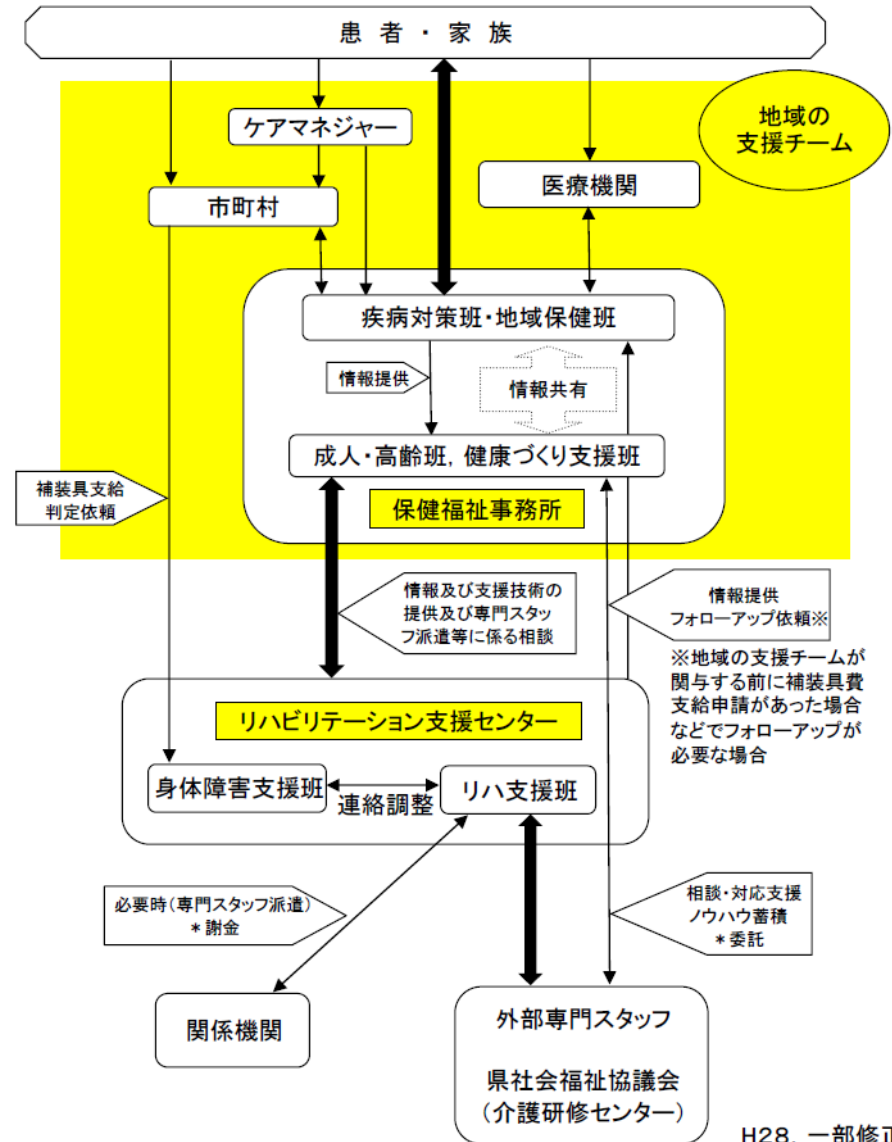


# 神経難病者の方へのコミュニケーション支援早見表 (名称/特徴)



H24. 4

# 宮城県のコミュニケーション支援体制（相談の流れ）について



H28. 一部修正

# コミュニケーション支援体制の充実に向けて

- ・ 当事者や家族の理解の促進
- ・ 支援者の経験の蓄積

**保健福祉事務所，医療機関，居宅介護支援事業所，訪問リハビリ（看護）事業所等とは，コミュニケーション支援に関して，密な連携が必要不可欠である。**



**最後に**

**・本日，集団指導終了後に30分間コミュニケーション支援機器の見学と体験を実施**